

「初心者が最初に聞くべき オススメスタンダードナンバー セレクションレポート」

0 なぜオールジャンルでそれぞれ3曲なのか？

1 ロックスタンダード

2 ブルーススタンダード

3 ジャズスタンダード

4 ファンクスタンダード

5 ボサノバスタンダード

6 ラテンスタンダード

7 ジャムスタンダードオススメブログについて

0 なぜオールジャンルでそれぞれ3曲なのか？

このレポートがオールジャンルにわたっていて、
かつそれぞれ3曲ずつピックアップしているのには理由があります。

それは、「オールジャンルプレイヤー」が
最終的にセッション上級者になりやすいことと、
とりあえず3曲覚えると、お店のセッションで困らないからです！

まず、オールジャンルのセッションができるようになると、
極端に参加できるセッションが増えます。
当たり前ですが、どんなジャンルの曲でもセッションできれば、
セッションに参加する機会も増え、また上達も早くなります。

また、とりあえず3曲覚えておけば、
セッションバーなどで一晩に平均して3回出番が回ってくることが多いので、
ネタ切れにならずにセッションに参加することができます。

以上の理由から、オールジャンル3曲ずつピックアップしています！

1 ロックスタンダード

1-1 「スタンドバイミー」

この曲は知らない人の方が少ない位有名な曲ですね。
映画ファンならば、その名もズバリ「stand by me」という80年代の名作映画でメインテーマとして使用されて、リバイバルヒットしたのをご存じかもしれません。

また、原曲はベンEキングの手による作曲で、ソウルな8ビートナンバーとしてプレイされています。
この曲は、ジャズやブルースなどジャンルを限定したセッション以外の
いわゆるジャンルフリーセッションならば、必ずプレイされるといっても過言ではない曲です。

1-2 「ノッキングオンザヘブンズドア」

この曲はフォーク、そしてロックの名曲として長年プレイされ続けている曲ですね。

ボブディランの力の抜けた、でもメッセージ性の強い歌い方とアレンジのおりじなるバージョンも有名ですし、いわゆるLAメタルの雄、gun's & roses によるカバーバージョンの方も、かなり有名です。

というように、この曲も長い歴史の中で様々な形にアレンジされ、カバーされてきたスタンダードナンバー中のスタンダードナンバーなのです。

1-3 「ロングトレインランニング」

サザンロックの雄、「ドゥービーブラザーズ」のヒットナンバーの一つですが、そんなサザンロック特有のおおらかさがあるので、見事にジャムスタンダードナンバーとしてプレイされ続けています。

コピーバンドしかやったことのなかった人には、この曲でのセッションは新鮮で楽しくでしようがない！そんなロック畑から生まれた素晴らしいジャムスタンダードナンバーです。

2 ブルーススタンダード

2-1 「ストーミーマンデーブルース」

いわゆる普通のブルースに使われているコード進行とはちょっと変形したものが使われています。

でも、ブルージーなフィーリングは天下一品の名曲！Tボーンウォーカーを筆頭に、ほぼ全てのブルースマンにカバーされているまさにセッションスタンダードと呼ぶにふさわしい曲といえるでしょう。

2-2 「ハイダウェイ」

フレディキングによるブルースの中では珍しく歌のないインストのスタンダードナンバー。

基本はブルース進行なのですが、途中キメがあったり、ブレイクがあったりと仕掛け満載です。ブルースインストとしてレパートリーに入れておきましょう！

2-3 「ジョージアオンマイマインド」

今は亡きレイチャールズの名演で有名なブルースバラードナンバー。

心を打つ素晴らしいメロディとハーモニーを持っています。この曲はジャズのセッションでも良く取り上げられるので、覚えておくと一石二鳥。ブルージーなバラードをまずは聞いて楽しんでみてください。

3 ジャズスタンダード

3-1 「Cジャムブルース」

「テーマメロディがドとソの2音しかないから覚えやすい！」

聞けば一発でわかるのですが、この曲はメインのテーマメロディがたったの2音だけしかありません。

なので、ジャズの複雑なメロディやテンションコードなどの知識がなくても、とりあえずプレイすることが可能です。

かつ、コード進行もいわゆる普通の3コードブルースの変形なので、基本のブルース進行を押さえている人ならば、割ととっつきやすい形と言えます。

3-2 「枯葉」

もともとはシャンソンの名曲ですが、それこそ腐るほど沢山のジャズプレイヤーに、腐るほど沢山のアレンジの形でプレイされてきた「ザ・ジャズスタンダード」

ジャズの曲をレパートリーに入れる時に、まず最初に上げられることの多いこの曲は、オススメのスタンダードナンバーです。

3-3 「フライミートゥーザムーン」

これまで死ぬほど沢山のジャズマンにカバーされまくってきたスタンダード中のスタンダードナンバー。とてもシンプルな構成の割に、素晴らしいメロディで個性を発揮しているこの曲。

セッション的にもプレイしやすく、かつバリエーションの付けやすい素晴らしい名曲です。

4 ファンクスタンダード

4-1 「プレイザットファンキーミュージック」

ファンクの代名詞ともいえるこの曲。日本でも大分昔にCMに使われて有名になりました。

一聴するとまるでバリバリの黒人プレイヤーがゴリゴリのファンクを演奏しているように感じますが、実はこの原曲は全て白人プレイヤーによって録音されています。

4-2 「シッシーストラット」

この曲は、なんとコード進行がない！ずーっとC7一発のみ！！こんなに覚えやすい曲はない、と安心するのはまだ早い。その分、2つのメインリフが存在します。

言ってみれば、コード進行は変わらないのに、リフをチェンジすることによって、AメロとBメロを分けている感じでしょうか。シンプルで、セッションでは良く取り上げられるファンクナンバーです。

4-3 「カメレオン」

この曲は何と言っても、メインリフが印象的！

原曲では、ポールジャクソン氏の太くてセクシーなベースサウンドによる、キャッチーかつファンキーなリフからスタートします。

このリフを聞いた時点で腰が動き始めるくらいグルーヴィーなのですが、さらにドラマーのハービーメイソン氏のドラムワークと相まって、独特のファンクグルーヴを生み出しています！このグルーヴを体感するだけでも、この曲を聞いてみる価値はあると思います。

5 ボサノバスタンダード

5-1 「イパネマの娘」

ボサノバの創始者アントニオカルロスジョビンの手によるザボサノバナンバー。ボサノバといたらまずこの曲が取り上げられるくらい、ボサノバセッションでは必須の名曲です。

ゆったりしたリズムと、流れるようなメロディとコード進行という、ボサノバの特徴を掴むには最適の曲です。

5-2 「ウェーブ」

同じくアントニオカルロスジョビンの手によるスタンダードナンバー。

イパネマの娘と同じく、ボサノバの特徴がしっかりつまった名曲です。まさにタイトル通り、波に揺れるような独特のグルーヴを掴んでみてください。

5-3 「ワンノートサンバ」

タイトルは一音だけのサンバとなっていますが、実際は2音あります。(笑)

でもやはりアントニオカルロスジョビンの作曲で、シンプルだけれども、独特の哀愁のある名スタンダードナンバーです。前出の2曲と比べると、サンバとついているくらいなので、少し早いテンポでプレイされることが多いのも特徴です。

6 ラテンスタンダード

6-1 「テキーラ」

全員がご機嫌に踊りながら、ショットでテキーラを飲み干すような現場がバッチリ似合う爽快ナンバー。会場中で「テキーラ！」の掛け声を合わせれば、セッションバーは必ず一体になり、盛り上がり間違いなしの素晴らしいテーマでもあります。

6-2 「セントトーマス」

カリプソという独特のラテンリズムでプレイされるこの曲。

随所にキメなどがあって、聞いていてとっても楽しくてご機嫌な曲です。

ジャズのセッションでも良く取り上げられるので、是非レパートリーに入れておきましょう。

6-3 「スペイン」

ジャズピアノの巨匠チックコリア氏による作曲で、スペインの土着音楽からの影響と当時のジャズのクロスオーバーで自由な感性が程よくマッチした名曲と言えるでしょう！

実はセッションでプレイするにはかなり難曲ですが、逆にこの曲がそつなくセッションできたら間違いなく上級者。一つ目標として聞きこんでおくことをオススメします。

以上が初心者が始めに聞いておくべきスタンダードナンバーのレポートでした。

いかがだったでしょうか？

今後買うCDや、練習するスタンダードナンバーの選択に役立てていただけたら幸いです。

それでは楽しいセッションライフをお送りください！

FTJS！ スタッフ一同